



# 宅地建物取引士講座

<5月通常コース・6月開講コース>

募集締切  
(5月通常)

4/21

募集締切  
(6月開講)

6/6



さまざまな業界で需要が多く、人気の資格。活躍の場が広がる。

## 【宅地建物取引士とは?】

宅建や宅建士は「宅地建物取引士」の略称で、毎年20万人前後の受験者数を誇る最大規模の人気の国家資格です。宅建士試験に合格すると宅建士として、不動産の売買や賃貸物件のあっせんをする際に、その土地や建物について専門知識を有していないお客様に詳しい説明をすることができるようになります。

宅建士試験の人気の秘密は、社会的ニーズの高さ・活用範囲の広さにあります。不動産業に携わる方ばかりでなく、金融関係、建設関係はもちろんのこと、他業種でも不動産に関わる専門知識を要するセクションでは、宅建の知識が業務に深く関わることもあり、高い需要を誇っています。宅建士は幅広い業種の就職活動に有利だけでなく、就職してから不動産業界では資格手当が出る等、給与面でも優遇される場合があります。

## 【講座概要・特色】

約半年間で宅建士合格を目指す短期合格カリキュラムです。5月からまず主要科目で学習に時間のかかる「民法等」の内容から学習を始め、「宅建業法」、「法令上の制限」、「その他関連知識」と、9月中旬までの各講義で合格のために必要な知識を身につけます。そして、本試験までの約1ヶ月で本試験形式の予想問題を解くことにより効率よく合格レベルに到達することができます。

## 【Webフォロー】

本講座は、講義をPC、スマートフォンやタブレット端末でも受講いただけるWebフォローがっています。Web動画で繰り返し講義の視聴が可能ですので、欠席時の補講としてだけでなく復習用としてもご活用ください。※Web動画の担当講師と本講座(エクステンションプログラム)の担当講師は異なります。

募集定員 100名

両コースあわせて

募集締切

●通常コース:4月21日(金)  
●6月開講コース:6月6日(火)

受講料

在学・卒業生:46,000円  
一般:50,000円(教材費を含む)

## 【カリキュラム・スケジュール】

5月初旬

9月中旬

10月第3日曜日

- 基本講義+科目別基礎答練  
民法(11回) 法令上の制限(6回)  
宅建業法(7回) その他関連知識(3回)
- 基礎答練  
民法(1回)・宅建業法(1回) 法令上の制限(1回)

直前総まとめ講義  
演習(8回)  
公開模試(1回)

本  
試  
験

## 6月開講コースをご受講の場合は

- 民法等(開講~6月中旬)をWeb受講(オンデマンド型)
- 宅建業法(6月下旬~)から対面講義に合流となります。

参考

一般財団法人 不動産適正取引推進機構  
<https://www.retio.or.jp/>



月	日	時間	講座内容
5月	9日(火)	18:50~21:30	民法等①
	16日(火)		民法等②
	18日(木)		民法等③
	23日(火)		民法等④
	25日(木)		民法等⑤
	30日(火)		民法等⑥
6月	1日(木)		民法等⑦
	6日(火)		民法等⑧
	8日(木)		民法等⑨
	13日(火)		民法等⑩
	15日(木)		民法等⑪
	20日(火)		基礎答練(民法等)
	22日(木)	宅建業法①	
	27日(火)	宅建業法②	
	29日(木)	宅建業法③	
	7月	4日(火)	宅建業法④
6日(木)	宅建業法⑤		
11日(火)	宅建業法⑥		
13日(木)	宅建業法⑦		
20日(木)	基礎答練(宅建業法)		

月	日	時間	講座内容
8月	10日(木)	10:00~16:10	前半まとめ復習講義(民法・宅建業法)
	22日(火)		法令上の制限①
	24日(木)		法令上の制限②
	29日(火)		法令上の制限③
	31日(木)		法令上の制限④
	5日(火)		法令上の制限⑤
9月	7日(木)	法令上の制限⑥	
	12日(火)	その他関連知識①	
	14日(木)	その他関連知識②	
	19日(火)	その他関連知識③+法改正セミナー	
	21日(木)	基礎答練(法令上の制限他)	
	26日(火)	直前総まとめ講義演習①	
	28日(木)	直前総まとめ講義演習②	
	3日(火)	直前総まとめ講義演習③	
	5日(木)	直前総まとめ講義演習④	
	10月	21日(木)	直前総まとめ講義演習⑤
26日(火)	全国公開模試		
28日(木)	直前総まとめ講義演習⑥		
3日(火)	直前総まとめ講義演習⑦		
5日(木)	直前総まとめ講義演習⑧		

\*10:00~16:10の日は、途中50分の休憩をはさみます。 \*全国公開模試の受験料は、講座受講料に含まれます。

※本試験の出題数は、50問です。

## 【試験データ】【過去6年間の年度別試験結果・合格ライン】

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率	合格ライン
2016	245,742名	198,463名	30,589名	15.4%	35問
2017	258,511名	209,354名	32,644名	15.6%	35問
2018	265,444名	213,993名	33,360名	15.6%	37問

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率	合格ライン
2019	276,019名	220,797名	37,481名	17.0%	35問
2020	204,163名	168,989名	29,728名	17.6%	38問
2021	256,704名	209,749名	37,579名	17.9%	34問

※2022年度の情報は、参考のページからご確認ください。

## 【合格率】 受講生合格率/全国平均合格率(2022年11月判明分)

2019年	2020年(10月試験)	2021年(10月試験)
32.4%/17.0%	25.0%/17.6%	28.6%/17.9%

## 【試験制度】

受験地	試験は各都道府県で実施されるため、本人が住所を有する都道府県での受験が原則となります。
受験日	毎年1回 例年10月第3日曜日 午後1時~3時(2時間)
受験手数料	8,200円(2022年度)
試験方法・出題数	方法:4肢択一の筆記試験(マークシート方式) 出題数:50問
試験内容	法令では、試験内容を7項目に分類していますが、本講座では法令をもとに以下の4科目に分類しています。 ①民法等 ②法令上の制限 ③宅建業法 ④その他の関連知識

本講座受講料に受験料は含まれません。

## 受講生の声

宅地建物取引士講座  
●経済学部 3年 Iさん(女性)  
(2021年 宅地建物取引士資格試験合格)

就職先として金融や不動産業界を視野に入れていたため、宅地建物取引士の取得を目指すことを決めました。しかし、これまでに法律の勉強をしたことがなかったため、受講前はとても不安に感じていました。本講座では、難しい法律用語や試験で出題されやすい要点を、講師が語呂合わせや実践例を用いて丁寧にわかりやすく説明してくださったため、短期間で効率良く勉強することができました。その結果、本番では合格ラインを大きく超える点数を取ることができました。授業の内容を復習し、過去問等で練習を重ねることで、私のように法律を全く勉強したことがない方や、暗記に苦手意識がある方でも無理なく合格を目指すことができると 생각합니다。